

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマが好評で、春休みには団体客だけでなく家族連れのお客が増え、想像以上に街なかの賑わっている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・景気はあまり良くないとは言いながらも、当店はどうしても必要な学校指定の体育衣料を扱っているのので、前年の注文数はほとんど変わらず、今年も何とか今までどおりにいけそうである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・イベントやキャンペーン等に関する客の反応が良い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ガソリン代が下がっているためか、来客数が微増となっており、化粧品や身の回り品を中心に売上も微増となっている。店全体でも3か月前と比べてやや良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量が増えているが、景気の影響ではなく、自社の販売方針変更によるものである。これまでは比較的単価の高い商品を買っていたが、単価を安くしたり、客が来やすいような商品をそろえることによって来店客が増えている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・このところ何年も、毎年前年より少しずつ落ち込んでいくような状況が続いていたが、ふと気がつくとういう状況ではなくなってきている。少なくとも下げ止まったが、若干上向いてきたような気がしている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・地域内企業を個々に見ると、来客数にはばらつきがあるものの、総じて前年より客が増える傾向にある。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・2月は前年割れだったが、3月は日ごろの営業努力やダイレクトメール、お礼状を一生懸命書いた結果、前年をクリアできている。今後も頑張っていきたい。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・今月は高単価、高稼働の日が多く、例年以上の数字で推移している。競合の新規出店に伴い、市場が活性化しているように感じている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・2015年の来訪観光客数が、名刹の式年行事が奏功し、東日本大震災前の水準を上回った。前年秋の関東東北豪雨の影響はあったものの、その結果が残せたことは大きい。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・12～2月の単月の売上と比較すると良くなっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3月は送別会等で動く時期である。ここ数年あまり良くないが、今年も送別会は少ないようで、一次会で解散し、深夜には客が少ない。それでも、週末は多少動きが出ている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・客は故人の生前の立場や状況などにより葬儀社を使い分けているように感じる。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・オリンピック記念等のイベントを行うと、入出はあるが物は買っていない。しかし、飲食店などは結構入店者があるようである。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・三寒四温で寒い時は人は動かない。取扱商品に価格の変動はなく、売行きは悪い。	
	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・競合店の改装休業により一時的に数字の上まっている店舗はあるが、既存店ベースの数字は前月同様の集客状況である。イベント時やポイント還元による集客は良いが、平日の集客が減少している。	
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月はおひな様のお祭り、ホワイトデーがあり、大河ドラマの関連で当地域への来客が増えていることもあり、来月たばこが値上げされるために若干の駆け込み需要が起こるのではないかと期待もしていたが、いずれも大して予定どおりにいかず、あまり良い結果ではなかったという判断である。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・4月1日よりたばこの増税があるため、安いたばこに替えようとする客の動きがみられる。	
	コンビニ（店長）	単価の動き	・当店の周りでは特別大きな変化はない。来客数の増減だけが売上の変動になっており、前月もそうだが客単価は変わっていない。あまり変化がないような気がする。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新社会人用の中古車、新車販売の量が増加する月なのだが、思うように販売量が伸びて来ない。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年3月中旬以降は受注が落ちる。		

乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・年度末の3月は需要期であるが、例年に比べて商談数は極端に少ない。	
乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・新車は全くと言っていいほど売れない状態で、販売が伸び悩んでいる。中古車はある程度の販売台数が確保できているが、購入する客が偏っている。例えば土建業の客は来るが、ホテル関係は全くだめとか、売れるユーザーが偏っているので、あまり景気が良いという実感はわからない。	
乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・当社の商品力不足もあり、車の購入の来店客が前年より減っている。	
住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・春需要商材のスタートは早かったが、3月中旬はあまり気温が上がらず、来客数が減少し、商品の動きは停滞している。	
その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・販売量は前年割れしているが、今月は若干減少傾向で推移している。	
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・このところ客単価が1~2割低下しているので、非常に厳しい。	
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・宴会などの人数は縮小傾向にあり、それと同時に物価の上昇に対して客単価は変わらないという悪循環が起きている。	
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・レストランの売上は前年並み、謝年会、送別会等の予約も前年並み、強いて言えば客数は減少し、客単価は上昇して、売上は変わらないといった状況である。	
スナック(経営者)	来客数の動き	・今回は来客数の動きと回答したが、競争相手の店が多すぎるという問題や、客の賃金低下によるような気もする。ともかく地方は本当に良くない。変わらないという回答はこれ以上悪くならないようにということである。	
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・3月ということもあり、ホテルの稼働率は全体的に上がっているが、それは季節的なものであり、景気としては3か月前と比べてそう変わっていない。	
タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼も夜も全体的に悪く、前年同月と比べて2%の減少である。	
通信会社(経営者)	お客様の様子	・地方の景気はあまり良い状態ではなく、節約志向が強くなり解約や保留が増えている。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・決算及び新入居の時期だが、人の動き、販売数については例年並みであり、消費傾向としてはあまり動きを感じられない。	
観光名所(職員)	お客様の様子	・このスキーシーズンは雪不足等により客足が鈍かった。現在は本格的な観光シーズンに入っていないため、観光客もまばらである。	
ゴルフ場(総務部長)	来客数の動き	・予約状況は前年並みで推移している。	
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にそれほど変化が見られない。	
その他サービス [イベント企画](職員)	お客様の様子	・地方では、あまり動きは変わらない。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・大体の仕事が納期で完了してきていて、次の仕事量が少なくなっている。	
住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・2~3月の移動時期で賃貸には動きがあったものの、売買についてはあまり動きがないように感じている。	
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・小売店が後継者不足により廃業等に追い込まれ、商店街がシャッター通りになりつつある。やはり大型スーパーに客を取られ、街の中がちょっと閑散としている状況が続いている。土地等についても本当に安い物件でない客が飛びついてくれない。再開発の調整区域ではないが、本当に単価の低い物件しか動きがない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・年度替わりのいろいろがあつて、人出や売上にも良い影響があるはずなのに、その動きもほとんど感じられず、街は相変わらずほとんど人通りがない状態である。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・マイナンバーカード写真撮影の来客数は前年よりは増えているが、デジタルカメラからのプリントが激減していて、差し引いても売上は前年に届かない。
	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・学生服販売をしているので、新入生の購入があり、多少良い状態になっている。

百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ 婦人服を中心としたアパレル全般の不調が継続している。大型食品物産展など、好調に推移しているカテゴリーもあるが、アパレルのマイナス分をカバーするには至っていない。	
百貨店（店長）	販売量の動き	・ 百貨店の主力である婦人、紳士衣料の動きが悪い。	
百貨店（副店長）	販売量の動き	・ 3月に入ってから非常に停滞感を感じている。物の動き、客の動きが想定とは全く違い、気温が上がっても春物が売れていない。卒入学用の洋服も売れない。客は一体どこで婦人服を買っているのだろうと疑問だが、恐らく買っていない。マイナス金利効果は消費には向かっていない。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・ 前年比で売上額が落ちている。衣料、住まいの品、食品すべてで下がっている。客単価は上がっているが、売上数量が減少している。	
スーパー（統括）	お客様の様子	・ 消費は前年3月時点とは全く逆の変化をしており、客が簡便調理派から簡便系手作り志向派へ少しずつ変わり始め、日常の買物がより慎重になってきている。	
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ 年末と比べて今月は行事が少なく客数が減っている。地域にコンビニ等の食料品店が増えたこともあり、景気は下向きである。	
家電量販店（店長）	販売量の動き	・ 今月は年度末でもあり、他の月に比べボリュームはあったが、商品単価が上がったおかげで前年売上をわずかに超す実績で着地となる。買上点数が少なくなっていることが気掛かりである。	
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 相変わらず車両販売は小排気量の乗用車や軽自動車中心で、しかも台数が漸減している。先行きがやや心配である。	
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・ 1品単価はやや上がってきているが、買上点数は減少している。総じて客単価はやや低下気味である。可処分所得の下落が報じられているが、景気の不安定感から、家庭の財布のひもは固くなってきていることを感じている。	
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・ 3か月前はふるさと旅行券の影響や企業業績の回復の影響と思われる忘年会の需要の増加があったため、比較的良い状況であった。今月に入り、そうした需要もなくなり、業績が例年並み以下に戻っている。よって、3か月前との比較ではやや悪くなっている。	
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・ 受注量が落ち込んできている。国内、海外旅行共に申込や受注が減っている。カウンターに来る客も、家族での春休み旅行の動きは出ているが、団体や小グループの旅行は少ない。企業もここにきて少し低迷しており、出張も減っている。	
タクシー（役員）	お客様の様子	・ タクシーなどの旅客運送業への転職希望者が増えているので、景気はやや悪くなっていると感じている。	
通信会社（社員）	販売量の動き	・ 販売は増えているが前年同月比では減少している。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ 来園者数もわずかに前年を下回っているが、土産品等の購買力が特に低下している。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・ 客から美容院の施術料金は高いと言われている。低料金の店舗に人気が出てきている。	
その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・ 自動車整備全般に、価格を優先する客が増えている。安心、安全は横に置いて、リスク承知で経済優先の発注をする客が、全体の70~80%になっている。	
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	お客様の様子	・ 来客数、販売量共に若干下向いている。予約状況は横ばいで、前月や3か月前と比較すると若干下回っている。そのためやや悪い。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・ 期末決算だということに来客数は増えず、全く動きも見られない。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・ 毎年のごとくではあるが、年度末のせいか仕事の情報がほとんどない。	
悪く なっている	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ 寒の戻りのために春物商材の売上が前年比で客数33%、売上も約半分に減少してしまっている。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・ 来客数は相当激減している。異常気象のせいではなく、なんとも財布のひもが固いというか、どこにも安心感が見つからないというのが実感なのだと思う。来店してくれた客との会話でも、使えるお金がないということで、それが実感だと思う。予想よりもはるかに悪い。客が消費に関して相当冷え込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 今月前半は来客数、売上共に近年になく減少した。後半は多少売上増となるが、客が夜の街中を歩いていない。

		スナック（経営者）	単価の動き	・少ない金額で多くの料理を請求されたり、とにかく予算を減らしたいという動きが多い。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・例年、年末から年度末は上昇傾向にあるはずが、東日本大震災以降は下降の一途をたどっている。行政や外郭団体からの受注さえ、ままならない。
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
(北関東)	やや良く なっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先から3月期末を納期とした自動車関連の受注が多くあり、一部の部署で休日出勤にて納期対応を行い、売上高も伸ばすことができている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・1～3月は取引先、受注量等が前年を10～20%上回っている。4月は若干落ちるとみている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの輸出が増加している。
		その他製造業 [環境機器] （経営者）	受注量や販売量の動き	・本業の3本柱の1つである廃家電プラント向けのフロン回収については設備が一巡し、前年までより急激に落ちている。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・地方のため、公共工事主体の建設業であるが、公共事業は現政権の3年間は好調であり、大変有難い。前の政権では公共事業が悪者扱いされ、建設業は疲へいし、魅力が感じられない業種となった結果、作業員が高齢化してしまった。今年度は前月までは前年比8%減であったが、ここへ来て前年並みの発注額があり、当社も前年並みの発注額を確保し、何とか安心できる状況になっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・季節的な要因もあるが、全般的に売上がやや増え、資金繰りも落ち着いている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・以前と比べると少し良くなっている。良いとまで言えるかというところとちょっとまだだが、良くなっている。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・好天にも恵まれ、各社共に見学者数、売上額が前年を上回っている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特注品、店頭販売品受注共に動きが少ない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特装車両のコンクリートミキサー車は、運転手不足もあり、販売もやや落ち着いているため、生産台数も横ばいの様子である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・単発だが受注はなんとか埋まっている。ただし、相変わらずコストは安く、儲からない。
		その他製造業 [宝石・貴金属] （経営者）	受注量や販売量の動き	・卸、小売共に引き続き低調で、売上は前年並みである。春夏に向けて商品準備をする会社も出ており、少しずつマーケットに動きが出てきたが、まだ状況が改善されてきたとは言いがたい。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新生活商品等の白物家電やインテリア、生活雑貨等の物量は前年並みである。燃料コストが下がっている部分もあるが、利益は前年並みを確保しそうである。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・円高により景気減速懸念が出ていること、及び1月下旬に導入したマイナス金利政策の影響がどうなるかを見極める必要がある。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の駆け込み予算消化は相変わらず少ない。ここ3年くらいは3月の広告発注件数が伸びない状況である。
		新聞販売店[広告]（総務担当）	取引先の様子	・百貨店、小売店共に卒業、入学祝等で連休の売上を期待していたようだが、当てが外れてしまったようである。チラシ出稿量も前年比99.2%となっている。
		社会保険労務士	取引先の様子	・短期の雇用が増えたことによる人の出入りが以前より多くなった気がしているが、大きな変化はない。
		その他サービス業 [情報サービス] （経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末のため、例月にはない小規模な商談が多く、販売量が増加している。
	やや悪く なっている	化学工業（経営者）	取引先の様子	・地域性があるのかもしれないが、「生産活動が沈滞しているのか消耗品の出荷、受注が少ない」と言う取引先が見受けられる。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年と比較して、年度末ということを加味しても明らかに動きが悪くなっている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・年初からの金融市場の急変による株安と円高が企業マインドに影響を与え、先行きの不透明感を高めている。

		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・競争の関係で受注がなくなっている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今年に入って延期になっていた受託保守業務を年度内に実施できたものの、前年同月に比べて年度末駆け込みのスポット業務は減少してしまっている。
	悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売点数が日に日に落ちている。同業者に聞いても同じである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月は売上の3割を占める造船関係の受注がゼロになり、非常に苦しい状況である。客に話を聞くとしばらく造船は苦しいとのことで、何か他の取引先を見つけないと経営がまずい状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末であるが、取引先の生産数量が当初計画のように伸びていない。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・前月あたりに新しい会社からまた声がかかり、少し売上が伸びる予定である。
		人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・企業の採用意欲が引き続き強いと感じている。長期で派遣就業が決まった後、就業開始前に「直接雇用が決まった」という理由で派遣契約を辞退するケースが相次いでいる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に増加傾向にあり、新規求職者数及び有効求職者数共に減少傾向であることから、活発な雇用の動きと離職、転職による求職に落ち着き感がみられる。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は、衣料品、食品関係の販売員募集がみられた。製造業については在庫調整、新製品等の製品ラインが動き出したようで、一部の電機、電子、食品製造などで多く募集傾向がみられている。住宅着工が少なかつたせいもあるかもしれないが、依然として住宅関連、建設に目立った動きはない。
		人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き	・例年3月は求職者数が減少するが、今年は求職者数が減っていない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は相変わらず問い合わせはあるものの人がなかなか集まらない状況である。企業側が職安等で求人を掛けているが集まらないので、派遣業界にもオーダーとして入っている。求職者の考えがまとまらないのか、苦慮しているようである。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は多少増えているが、業種別にみると製造業は少なく、医療、介護、サービス業が多い。求人誌の募集掲載はいつも同じ企業名が多く、新たに掲載される企業は季節的な短期募集が目立つ。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の伸びが落ち着いてきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・28か月ぶりに新規求人数が前年同月を下回ったが、前年は名刺のご開帳、北陸新幹線延伸効果によりサービス業を中心に新規求人数が急増した影響である。企業における人手不足感は依然として続いており、求人倍率は前年同月と同数の高水準である。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、大手企業の採用意欲は高いが、中堅、中小は企業により受注案件の関係でのピンポイント採用が目立ってきている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・間接業務の求人がない状況は、リーマンショック以来変わらない。希望する生徒が少ない職種の求人が多いなど、景気は回復しつつあるのかもしれないが、実感として感じられない。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-